

岩手教区報

第363号
立教186年3月1日
天理教岩手教務支庁
盛岡市馬場町3-40
TEL 019-622-7962
FAX 019-623-9597



学生層育成に心を向けよう

学生担当委員長 鈴木眞浩



いよいよ教祖百四十年祭に向けて、三年千日の年祭活動がスタートしました。私が教祖の年祭を意識して活動するのは4回目になります。

天理大学在学中、教祖百十年祭に向かう三年千日活動に、真柱様より諭達をご発布いただきました。当時は天理教学生会の一員として、お道につながる全国の学生と、教祖年祭とは何ぞや、諭達の意味、諭達に込められた真柱様の思いとは等々真剣に議論を重ね、年祭に向けて、真つ直ぐ突き進んでいたように思います。教祖ご在世当時に活躍された先生方や、現身をお隠しになられた後、枯野に火を放つがごとく、全国各地へお道の教えを広められた先生方は、20代から30代の若者が多く、中には10代の方もおられました。ただひたすらに親神様の御教えを信じ、ひながたの道を愚直なまでに邁進された姿が、多くの方々のたすかりと各地の教会設立につながったのではないかと思います。

古今東西、古代エジプトのピラミッドにも「最近の若者は…」との落書きがあるように、若者に対する見方はネガティブなものが多いように思います。おさしづに「若い者寄り来る処厄介、世界から見れば厄介。(略)」(明治26年6月19日)とご明示いただいている

ように、若年層の扱いに手を焼くことは、いつの時代も同じことなのです。

また、「育てば育つ、育てば誠、誠は修理、修理は肥やし。これよう聞いて置け。」(明治23年6月24日)とお教えいただき、前真柱様からは、ことあるごとに「育てることは育つこと」とお言葉をいただいています。

若年層の育成には時間がかかります。それには正解もなく、一度うまくいったことでも、次は通用しないことが多々あります。けれども若年層に関われば関わるほど、お引き寄せいただく種を確実に蒔くことができ、20年30年経った時には各家庭にとっても、教会にとっても、なくてはならない大切な人をお与え頂くことになるのだと思います。

年祭に向かう三年千日の活動が始まって、先ずおちばで開催される式典は「春の学生おちばがえり」であります。婦人会総会、青年会総会に先立って開催される学生層の集いに心を向けて、一人でも多くの学生に声掛け(肥かけ)をし、年祭活動を盛り上げて行きたい思います。

ようぼくの声

行事での感想・感話より

久保京子 (三陸支部・浜洋分)

私は遠野市にあった製材所の長女として生まれ、昭和33年、釜石で漁師をしていた主人と結婚し、釜石市尾崎町に住むことになりました。長男が小学4年生、次男が小学2年生の時、主人の体に異変が見られました。主人の兄弟が後に設立される浜洋分教会の上級である釜石港分教会の信者でしたので、私はそこでこの教えを初めて知る事となったのです。その頃の私は漁師の妻として浜の仕事を手伝い、重い荷物を運んだり動き回ったりの日で、早産と流産を繰り返して、子供の産めない体になっていました。

おちばに初めて帰った翌年の昭和46年、不思議と三男を授けて頂き、喜びに胸を躍らせていた矢先、また大きな節が訪れます。姑は「舌癌」を、主人は筋肉が衰えていく病氣「筋萎縮性側索硬化症」を発症したのです。親神様に縋る思いで、昭和48年、一番下の2歳の子供を連れて修養科を志願しました。続いて主人も修養

科を修了し、教会に住み込むことに。病状が進み歩くことも困難になる中、会長さんが上級教会まで一緒に歩いて参拝して下さり、その帰りに、にをいがけをされるのを、主人も必死について廻りました。

昭和51年には、姑は舌癌が悪化して出直し、その翌年に主人も病状が進んで入院し、日に日に体が動かなくなり声も出ず、目と目の会話となりました。8か月後、出直した主人の体から次々と医療機器が外されていく中、会長さんがまだ温かい主人におさづけを取り次いで下さいました。すると主人の目が開き、居合わせている一人ひとりにお礼するかの如く目を向けると、再び目を閉じ、親神様の懷に抱かれていったのです。私の信仰信念が心に深く刻まれた瞬間でした。

平成23年の東日本大震災では、ほとんどの財産が津波に流されてしまいました。が、家族全員の命をたすけて頂きました。高台にある小学校の体育館で避難生活を送っていた中、私は疲労と衰弱で倒れてしまい、次男が自分の家の近くに借家を見つけてくれ、そこで生活することになりました。現在は有難いことに自宅を購入し、長男家族、三男家族と一緒に暮らしています。辛いことが重なりましたが、嬉しいこともあったのです。

親神様は決して乗り越えられないふしはお与えになりません。私の通った後の道に、子供や孫が幸せになる道があるのなら、苦労ではありません。歩んだ道が後々の者の話の台となるよう、これからの人生を歩んでいきたいと思っています。

婦人会創立110周年「会員決起の集い」感話
於宮古港分(令和1年6月9日)

計報

鈴木 トシ (96歳)
盛岡支部・三ノ盛布教所長
令和5年1月26日出直された。

行事予定 【3月分】

1日 献血推進研修会(10時30分)
" 役員会(11時30分)
11日 学生担当委員会例会(19時30分)
12日 青年会ひのきしんデー(10時)
19日 女子青年例会(10時)
25日 春の学生おちばがえり(29日)
30日 少年会例会(12時)
31日 婦人会例会(10時30分)



「祭儀式勉強会」報告



祭 事 部

教区祭事部は、去る1月29日(日)、教務支庁を会場に「祭儀式勉強会」を実施し、青森教区からの参加者1人を含む19人が参加した。

今回は、基本作法と「みたまうつし」についての勉強会となった。近年、葬祭場を使用されることが増えており、コロナ禍での家族葬や斎員を少人数にして執行される現状にも対応出来るよう、5人制と2人制の立式の祭儀式を学ばせて頂いた。

初めに、講師の鈴木眞理祭事部長が基本作法を説明し、次に祭事部員が「みたまうつし」の作法の実技を行った。続い

令和5年度 岩手教区行事予定

【教区・布教部・厚生部ほか】

4月29日 全教一斉ひのきしんデー
6月24日 全教会おちばがえり(～27日)
7月16日 教区献血ひのきしん
8月29日 福祉セミナー
9月28日 全教一斉にをいがけデー(～30日)
10月16日 剪定ひのきしん(～17日)
12月3日 献血呼びかけひのきしん
12月10日 雅楽初心者講習会
2月4日 献血呼びかけひのきしん
3月1日 献血推進研修会
3月30日 祭儀式勉強会

【婦人会】

4月30日 婦人会総会
10月21日 後継者勉強会

【青年会】

4月9日 三年千日勉強会
5月3日 東北ブロック大会(福島)
6月25日 岩手つ子だヨ!全員集合in天理
9月17日 健康感謝わんこそば大会
1月21日 はたらくようぶくの集い

3月10日 3.11ひのきしんデー
～あの日を忘れない～

【少年会】

4月 教祖ご誕生まつり(各支部)
7月 少年ひのきしん隊本部練成会
9月30日 わかぎの集い
10月29日 第50回岩手教区団総会

【学生会・学生担当委員会】

7月1日 学生層育成者講習会
8月 ワーク&トーク2023in 福島
11月11日 高校生の集い「まなびば」(～12日)
12月17日 教区学生会総会
2月 東北ブロックリーダー研修会(山形)
3月26日 春の学生おちばがえり団体(～30日)

【道の教職員の集い】

6月4日 総会及び講演会
8月11日 夏の勉強会(～12日)
11月5日 陽気フォーラム

【災救隊】

5月29日 教区訓練(住田町～30日)
11月16日 支部幹部研修会(支庁舎清掃)
11月26日 白川整備ひのきしん(おちば～27日)

て、鈴木講師の指導のもと、参加者が斎員の役を順番につとめ、祭儀式の習得に励んだ。
来年度は「告別式」を学ぶ予定ですが、多くのご参加をお願い致します。



青 年 会

「教区青年会ひのきしんデー」

～あの日を忘れない～【3月12日】

あの未曾有の被害をもたらした東日本大震災から、12年目の月を迎えました。時間の経過と共に、震災の記憶が薄れてきていないかを自らに問いながら、また多くの支えがあつての今であることを再確認しつつ、ひのきしんをさせていただきます。

寒さも未だ厳しい時期ですので、それぞれ対策を講じて頂き、青年会層のみならず1人でも多くのご参加をお願い致します。

日 時 3月12日10時～12時
場 所 大槌町赤濱分教会周辺
内 容 幸せ拾い



献血推進委員会

「バレンタイン献血呼びかけ

ひのきしん」報告

年末の「クリスマスキャンペーン」に続き、2月11日(土)には「バレンタイン献血2023」がイオンモール盛岡南で実施された。私達「岩手教区献血たすけあいの会」も盛岡支部より1人、献血推進委員4人が参加し、赤十字学生奉仕団の人たちと共に、プラカードを持って、呼びかけひのきしんをさせていただいた。

近年は新型コロナウイルス流行の影響で献血者が減少し、血液の需要量確保が困難な状況にある。また当日は、前日の夕方からの大雪で、来場者が少ないのではないかと心配されたが、朝方には雪もやみ晴天となり、受付者60名、献血者49名とまずまずの結果であった。

7月16日の「教区献血ひのきしん」の時には、教務支庁に献血車を配車していただきます。是非ご協力をよろしくお願いします。



携行品 火ばさみ、長靴、軍手など
申込 村松義朗委員長迄



学生担当委員会

「春の学生おちばがえり」

団体募集

来る3月28日、本部中庭において「立教186年春の学生おちばがえり」が開催されます。

教区学生会・教区学生担当委員会では左記の日程で団体を募集し、式典に参加させていただきます。
一人でも多くの学生にお声がけ頂きますようお願い致します。

3月25日 教務支庁出発(16時)
26日 本部月次祭参拝、USJ
27日 お楽しみ行事、回廊ひのきしん、別席他
28日 式典、直属アワー、別席おちば出発
29日 教務支庁帰着(10時)
※詳細はチラシを参照して下さい。おちば管内の学生も参加可能です。